

つきたい力

- (1) 「聞く力」「対話する力」
- (2) 自己調整力 (基礎学力・情報活用能力)

取組みの概要・ポイント

- (1) 各学年の「聞く力・対話する力」の年間目標を設定し、「話すこと・聞くこと」の単元に加えて、他の領域でも対話する学習を設定し、授業づくりをすすめる。
- (2) 自ら学ぶ力を育むために、「校内漢字検定」「自学ノートの活用」をすすめる。

具体的な取組みの内容 (1) 「聞く力」「対話する力」の育成

◎目標の設定

学習指導要領で示されていることと児童の姿を結び付け、各学年で付けたい「聞く力」「対話する力」の重点目標を決める。

1・2年生 「先生や友だちの話を最後まで聞くことができる。」 3年生 「先生や友だちの話を最後まで聞き、内容を理解することができる。また、自分の考えをもつことができる。」

4年生 「先生や友だちの話を聞き、周りの考えや意見を大切にしながら、共通点や相違点を見つけ、話し合いにいかすことができる。」

5年生 「グループや全体での活動を通して、自分の考えを伝え、深く合うことができる。」 6年生 「話し手の意図を考えながら聞き、相手を尊重して考えを交流し、広めたり、深めたりすることができる。」

◎目標に対する評価の見取り方

「話し合いによる考えの変化」を視覚化したり、振り返りカードを工夫することで、「対話活動」の評価を行った。



ポジショニングによる視覚化

帽子による視覚化

振り返りカードの工夫で対話活動の評価につなげる

自分の考え ほかの誰かがクルルを賣るまで、仲間殺しの犯人殺し、そんな他の誰かと一緒に飛ぶのがつらくなってきたから。

班の考え 仲間殺しの犯人のようにあつかわれ、当たり前だったことがすべて一度し、仲間の誰かと一緒に飛ぶのがつらくなってきたから。

4時間目 クルルさん、あのときはたじろと仲間のみでうずくまらしかできなかったんですね？ その心の中を教えてください。(クルルの観点で語りましょう。)

もう、仲間も当たり前だった日常もない。すべてが一変してなにもかも失った自分が嫌になったから、あの時はうずくまっていました。

◎研究授業の位置づけ・他学年とのつながり

授業に関わる全教職員を学年の研究チームに振り分け、児童の実態、教材で付けたい力、単元のゴールを確認し、ロードマップ、指導案を作成する。研究授業については、「自分の関わっている児童に返すなら？」という観点を意識して、研究授業・授業検討会に臨む。研究授業で取り上げた手立てについて、児童の実態に合わせて他の学年でも派生させて活用した。

「聞く力」「対話する力」の育成に関する詳しい取組み資料は、右の二次元コードからご確認ください。



◎校内漢字検定の実施

各学期の「漢字まとめテスト」に向けて、学習期間を設定する。学習計画をたて、合格点90点以上を目標に取り組む。学習の仕方、結果を振り返り、次回のテストにつなげる。



◎自学ノートの活用

自学ノートを活用することで、自ら学習に取り組む力を身に付ける。

①自学ノートでつきたい力と内容整理

・学習型自学・・・「基礎学力」の育成をめざし、自分にとって必要だと考える学習に取り組む。短い時間でも取り組めるように、メニューの提示を行う。

・探究型自学・・・生活や学習の中で「問い」を見つけ、見開き2ページに時間をかけてまとめる。まとめ方について各学年の目標を定め、国語科の学習内容と関連付けながら、「つきたい力」をめざして取り組む。

3年生	4年生
探究型自学の書き方の基本を知る。 学習型自学に自主的に取り組む。	色やレイアウトに気を付けてまとめる。 テスト前に学習型自学に取り組む。
読み手を意識してまとめる。 テスト前に学習型自学に取り組む。	必要な情報を抜き出してまとめる。 中学校のテストを意識して、学習型自学に取り組む。



博覧会の様子

②自学ノート推進への取組みの具体例

・自学ノートガイダンスを行い、まとめ方について児童に見通しをもたせる。

・自学ノート博覧会を開催し、取り組んだノートを教職員で評価する。

児童の自学ノートガイダンスで使った資料及び自学ノート(例)については、二次元コードからご確認ください。



取組みを通しての子どもの変容

(1)の成果として、「話し合って、考えが深くなったり、広くなったりしていますか」に対して肯定的な回答が92.8%となった。積極的肯定も14.3%増えている。全体を通して、「国語の授業が分かる」が90.8%、「国語の授業が好き」が77.6%と、国語の授業が「分かる」「好きだ」と回答する児童が概ね増加する結果を得ることができた。(2)の成果として、全国学力状況調査・すくすくウォッチの「漢字」に関わる問題について、正答率が大阪府・全国平均を上回る結果となった。また、「1週間に1時間以上自学ノートに取り組んでいる」と回答する児童が取り組み当初から比べて20%も増加した。(R3 33%⇒R5 53%)「国語科で学んだことを他の学習に活用していますか」の肯定的な回答は79.8%と、昨年度を上回る結果となった。